

# 日本猶奇・残酷事件簿



[日本猶奇・残酷事件簿 下载链接1](#)

著者:合田一道

出版者:扶桑社

出版时间:2006/09

装帧:文庫本

isbn:9784594052263

明治5年、歌舞伎役者との“不義密通”を重ねたうえに、主人を毒殺して世間を騒がせた「毒婦夜嵐おきぬ」事件、大正6年に発生した夫婦間でのサディズム・マゾヒズム殺人、昭和11年に起こり、現在でも語り継がれる阿部定事件、その1年前の昭和10年には、母親が娘と共に謀して息子を殺すという日本で最初の保険金殺人が発生。明治から昭和にかけて起こった凄惨でむごたらしい事件の背景には、近代日本の世相が

反映していた。

---

## 【目次】

“御一新”時代のおぞましい犯罪—明治期（役者と密通のうえ、主人を殺害—“毒婦夜嵐おきぬ”と呼ばれた女）

“毒婦”と化した“貞婦”お伝—不治の病の夫を持った妻の行く末（ほか）

狂気の犯罪が罷り通る怖さ—大正期（信用させて真夜中に襲う—大米龍雲尼僧連續暴行殺人）

女性の局部に竹をぶすり—少年による串刺し殺人事件（ほか）

“阿部定”に共通する複雑な女の犯罪—昭和戦前期（女の頭部を切り、頭にかぶる—凄惨きわまる男の首吊り死体）

八つに切られた男の死体—兄弟の犯行、玉の井バラバラ事件（ほか）

小平事件に見る食糧難時代の犯罪—昭和戦後期（食べ物なく、人肉を食わす—障害をもつ先妻の娘を殺害して）

女性をつぎつぎ乱暴、絞殺—食料を餌に誘い出す、小平事件（ほか）

作者紹介:

合田 一道

北海道生まれ。長く北海道新聞に勤め、主に日曜版を担当。在職中からノンフィクション作品を手掛ける。北海道ノンフィクション集団代表。

目录:

[日本猟奇・残酷事件簿 下载链接1](#)

标签

日本

情色

## 评论

[日本犹奇·残酷事件簿 下载链接1](#)

## 书评

[日本犹奇·残酷事件簿 下载链接1](#)